

業 務 紹 介

～調査地区の紹介「浪岡川(二期)地区」～

本地区は、平成 29 年度から国営施設応急対策事業「浪岡川(二期)地区」の調査に着手し、事業化に向けた各種調査を実施中です。ここでは、その概要について紹介します。

1. 地区概要

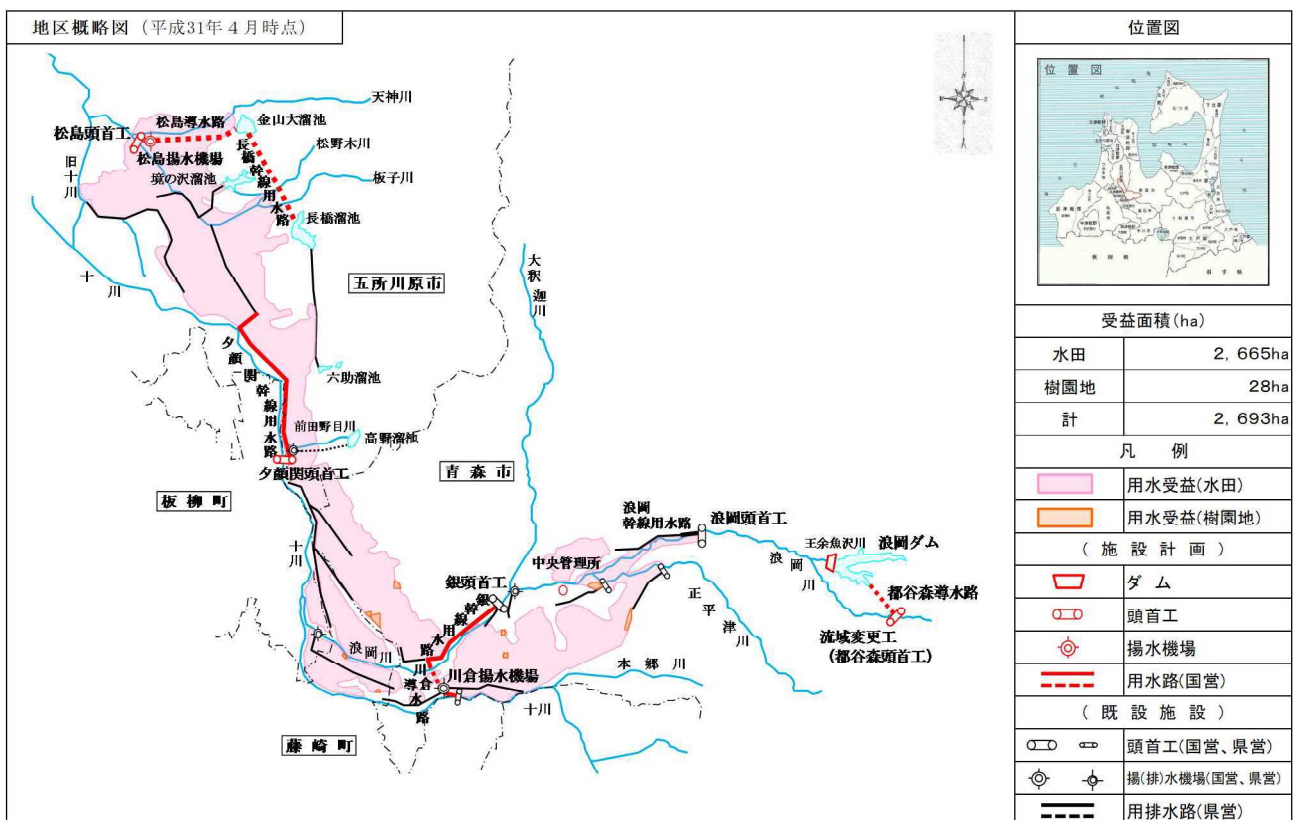
本地区は青森県西部、津軽平野のやや中央部に位置し、青森市、五所川原市、藤崎町及び板柳町にまたがる農業地帯です。

本地区の基幹的な農業水利施設は、昭和 46 年度から昭和 63 年度にかけて国営浪岡川農業水利事業（以下「前歴事業」と表記。）により、水源である浪岡ダムを始め、頭首工、揚水機場、幹線用水路等が整備されています。

このうち、ダム放流設備の放流管や管水路では漏水等の不測の事態が発生しました。

また、前歴事業で整備された農業水利施設は、完成から 30 年以上を経たものもあるなど、全体的に老朽化が著しく、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。

このことから、本事業により施設の漏水原因の調査及び対策を行うとともに、老朽化が進行している農業水利施設の改修を行うことにより、農業用水の安定供給及び維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定に資するものです。



2. 本地区の営農状況

本地区は、水稲中心に水田畑利用による大豆や、高収益作物であるにんにく、未熟とうもろこし及びりんご等を組み合わせた農業経営を展開しています。特に未熟とうもろこしは、浪岡地区限定のオリジナル品種で栽培されており、地域ブランド化による販売拡大が推進されています。

■水田畑利用による野菜や果樹を組み合わせた農業経営を展開（高収益作物の導入）

「にんにく」は、^{ふくち}福地ホワイト6片種で、雪のように白く、粒が大きいのが特徴です。



【にんにくの収穫状況】



【にんにくの販売状況】

「とうもろこし」は、生産者がエコファーマーの認定を受けて生産し、「なみおかバサラコーン」という地域ブランドで県内を中心に出荷されています。



【バサラコーンの収穫状況】



【バサラコーンの販売状況】

「りんご」は、ジューシーで歯ざわりが良く、実がしまって味が良い、と全国の消費者から好評を得ています。



【りんごの収穫状況】



【りんごの販売状況】

■今後の営農展開

本地区では、収益性の高い農業経営を推進し、安定した営農を継続していくため、

- ① 6次産業化（地区内農産物の加工・販売）、
- ② 地元業者と連携した加工品の取組、
- ③ 輸出による販路拡大、を更に進めていくこととしています。

6次産業化の取組としては、地区内で生産された「りんご」や「にんにく」を使用した加工品などを製造しています。



【りんごジュース】

【にんにく味噌】

また、地元食品製造業者と連携し、業務用バサラコーンペーストとそれを使用したソフトクリームの商品化などにも取り組んでいます。



【バサラコーンペースト】

【バサラコーン入りソフトクリーム】

その他、ほ場整備された水田で「大型機械の導入によるコスト低減」を図るとともに、「輸出米処理施設」の整備により海外への販路拡大や流通経費の削減を行い、農家の収益向上に取り組んでいます。



【大型機械の作業状況】



【主食用米輸出の状況】